

情報通信技術（ICT）の進歩によって私たちの生活の利便性は向上する一方で、生活の多様化・複雑化に伴いプラスの側面ばかりとは限りません。技術の進化は私たちの一人一人の生活を変えるとともに、他者や生活環境との関わり方をも変えていきつつあります。このような状況のもと人が技術・社会・環境と相互に豊かに関わるためのコミュニケーションの研究を横断的に議論する必要性から、ヒューマンコミュニケーショングループでは、平成 16 年から隔年で、平成 25 年からは毎年特集号を発行しています。独自の論文誌を有していないヒューマンコミュニケーショングループ（HCG）の会員にとって、本特集は日頃の研究成果を論文として広く情報発信する絶好の機会ですので、是非投稿を御検討下さい。

なお本特集では、ヒューマンコミュニケーション研究の成果をよりの確に伝えるために、画像・映像・音声等のデジタルデータを論文に添付することを可能にします。ただし、これらの追加データは査読プロセスにおける参考資料としての利用に留められ、採録に伴う公開は行いませんので御注意下さい。

1. 対象分野

- ・ヒューマンコミュニケーション基礎
- ・ヒューマン情報処理
- ・メディアエクスペリエンス・バーチャル環境基礎
- ・福祉情報工学
- ・発達障害支援
- ・ヒューマンプローブ
- ・食メディア
- ・情報の認知と行動
- ・ヴァーバル・ノンヴァーバル・コミュニケーション
- ・魅力工学
- ・コミック工学
- ・リアルタイムコミュニケーション言語
- ・その他、ヒューマンコミュニケーションに関する全般、あるいは新領域

2. スケジュール

- ・投稿期限 2020 年 4 月 17 日（金）（厳守）
- ・掲載料支払期限 2020 年 10 月 25 日
- ・論文発行 2021 年 2 月号

※掲載料前払い制導入に伴い、上記の支払期限が設けられておりますので御注意下さい。

詳細は以下 URL を御参照下さい。

https://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_6-10.html#7

3. 投稿方法

- ・電子情報通信学会論文投稿システム（下記 URL）を用いて「A 基礎・境界：[特集 HA] ヒューマンコミュニケーション」へ電子投稿して下さい。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx

- ・追加のデジタルデータを論文の査読プロセスにおける参考資料として添付したい場合は、下記に従って送付して下さい。

- ① 論文本体は完結する首尾一貫した内容であることが求められ、添付されるデジタルデータはあくまでも査読プロセスにおける参考資料として利用されます。
- ② たとえデジタルデータを添付した論文が採録されたとしても、論文誌やそれに準ずるメディアにはその論文のみが掲載され、添付されたデジタルデータは公開されません。
- ③ デジタルデータの容量上限については以下のようにさせていただきます。
 - (a) 1 ファイル当たりの上限は 50 MB とします。
 - (b) 1 論文当たりのファイル容量・ファイル数に上限はありませんが、音声・動画の場合は 5 分程度を上限として下さい。
- ④ 投稿論文へのデジタルデータの添付（提出）方法は以下の通りです。

- (a) デジタルデータを取録したメディア（CD/DVD あるいは USB メモリ）を事務局まで投稿締切日までに送付して下さい。
- (b) 必ず投稿した論文のタイトル及び著者等を分かりやすく表記し、投稿論文とメディアとが正しく対応づくようにして下さい。

4. 特集編集委員会

委員長 竹内勇剛（静岡大）

副委員長 小森政嗣（阪電通大）

幹事 近藤一晃（京大），坂本 隆（産総研），新井田統（KDDI 総合研）

委員 安藤英由樹（阪大），石井 亮（NTT），馬田一郎（KDDI 総合研），坂井田瑠衣（NII），酒向慎司（名工大），塩野目剛亮（帝京大），繁榊博昭（高知工科大），寺田和憲（岐阜大），道満恵介（中京大），永井岳大（東工大），塙 大（名古屋市立大），藤田和之（東北大），松田昌史（NTT），宮崎慎也（中京大）

5. 問合せ先

竹内勇剛（静岡大学）

E-mail : takeuchi@inf.shizuoka.ac.jp